

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

獣害被害が小さい平野部の地区も含めた協議会を設置し、侵入防止柵の維持管理実施地区（山間部）の活動を支えるため、平野部の住民から協力金を徴収し基金を造成。実施隊ではベテランによるマンツーマン指導により後継者を育成。

あさひまち ゆうが いちようじゅうたいさく きょうぎかい

朝日町有害鳥獣対策協議会

（会長：水島 一友）
みずしま かずとも しもにいかわぐん あさひまち
富山県下新川郡朝日町

主な取組

- サルやイノシシによる農作物被害が増加したことから、平成16年度以降、山沿いの全6地区で協議会を設立し、平成22年度には、平野部の自治振興会を含めた朝日町有害鳥獣対策協議会に発展。平成20年から、勉強会や先進地視察、集落環境整備、侵入防止柵の導入を実施。
- 平成22年以降、山沿いの地区では電気柵の維持管理のため、全世帯から費用負担の協力を得た基金を造成。
- 町の中心部へのイノシシ等の出没をきっかけに、「鳥獣対策は山沿いの集落だけの問題ではない」との意識が高まり、平成24年度には、平野部4地区でも基金を造成（全世帯の92%が賛同）し、それに町が積み増しを行い、維持管理を実施する山沿い6地区に維持活動費を分配。維持管理活動は、班編制により月1回以上、各戸1名参加を原則に実施。
- 平成26年、朝日町鳥獣被害対策実施隊を組織。山沿い6地区に大型檻45基を設置。捕獲経験の浅い隊員には、1年間、ベテランによる捕獲現場でのマンツーマン指導を行う等捕獲技術の次世代継承を実施。
- 地域住民による「鳥獣に強い安心な町づくり」を推進。

【朝日町】

イノシシ捕獲頭数	平成21年度：30頭	→	平成30年度：107頭
イノシシによる被害金額	平成21年度：383万円	→	平成30年度：57万円